

# 1 盛岡医療構想区域における具体的対応方針の調査結果について

調査期間: R5.10~12

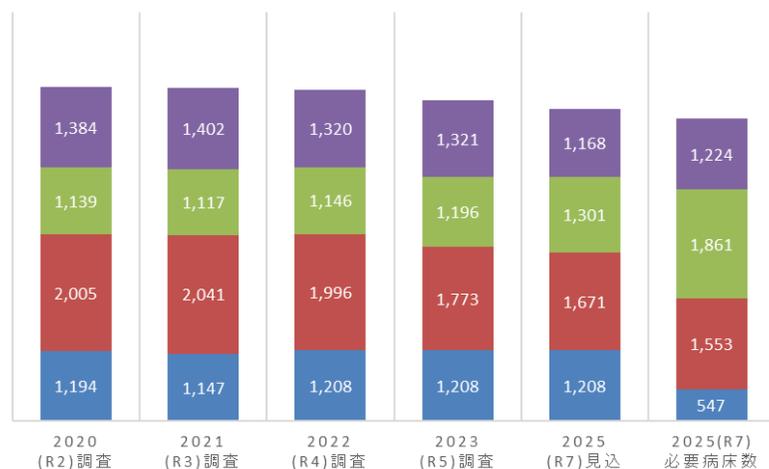
調査対象機関: 病院33か所 有床診療所: 30か所

(単位: 床)

病床数	2020 (R2) 調査	2021 (R3) 調査	2022 (R4) 調査	2023 (R5) 調査	2025 (R7) 見込	2025 (R7) 必要病床数	2023調査 と必要病床 数の差	2025見込 と必要病床 数の差
高度急性期	1,194	1,147	1,208	1,208	1,208	547	661	661
急性期	2,005	2,041	1,996	1,773	1,671	1,553	220	118
回復期	1,139	1,117	1,146	1,196	1,301	1,861	▲ 665	▲ 560
慢性期	1,384	1,402	1,320	1,321	1,168	1,224	97	▲ 56
合計	5,722	5,707	5,670	5,498	5,348	5,185	313	163

盛岡医療圏具体的対応方針

■ 高度急性期 ■ 急性期 ■ 回復期 ■ 慢性期



- ・R5年の病床数(5,498床)は、昨年度調査時(5,670床)から172床減少
- ・R7年見込み病床数(5348床)は、今年度調査時(5,498床)から150床減少する予定  
⇒病床数全体は減少傾向にあり、2025必要病床数に近づいている。
- ・病床機能別では、急性期は一貫して減少、回復期は一貫して増加している。
- ・慢性期は横ばい傾向から減少に転じているが、これは松園第一病院(120床)がR6.1に介護医療院となったことによるもの。

## 2 急性期～慢性期病床の動向

### 2 急性期病床の動向(2023(R5)調査と2025(R7)見込みとの差)

病院名	増減	備考
盛岡市立病院	△72	うち60床を回復期に転換予定
栃内病院	△19	R5年度中に削減。地域医療構想会議で協議済み
赤坂病院	△4	R5年度中に削減。地域医療構想会議で協議済み
遠山病院	2	病院建替えに伴い、急性期2床増加、回復期24床増加、慢性期36床削減の予定
産婦人科吉田医院	5	周産期センターがパンクしないよう積極的な入院管理の増加が見込まれるとともに、産後ケア病床の稼働増が見込まれるため。
黒川産婦人科医院	2	R5.10～増床済み(地域医療構想会議協議済み)
ちあき眼科クリニック	△1	R6年度削減予定(地域医療構想会議協議済み)
西島産婦人科医院	△9	R5.9でお産終了し、入院業務は休止

### 3 回復期病床の動向(2023(R5)調査と2025(R7)見込みとの差)

病院名	増減	備考
盛岡市立病院	60	急性期から転換
盛岡友愛病院	11	休床している11床を稼働させることを目標としている。
遠山病院	24	病院建替えに伴い、急性期2床増加、回復期24床増加、慢性期36床削減の予定
葛巻病院	18	R6.3の介護療養病床の廃止に伴い、一般病床の回復期へ転換する。

### 4 慢性期病床の動向(2023(R5)調査と2025(R7)見込みとの差)

病院名	増減	備考
盛岡医療センター	13	
遠山病院	△36	病院建替えに伴い、急性期2床増加、回復期24床増加、慢性期36床削減の予定
葛巻病院	△18	R6.3の介護療養病床の廃止に伴い、一般病床の回復期へ転換する。
おいかわ内科クリニック	△1	R5.9から1床を介護医療院に転換済み

### <参考>

#### 許可病床・稼働病床

区分	許可病床	稼働病床	非稼働病床	許可病床に対する稼働率
病院	5,464	5,310	154	97.2
有床診療所	331	227	101	68.6

#### 稼働病床に対する利用率 (%)

年度	病院		診療所	
	一般	療養	一般	療養
R2	71.8	84.1	40.9	
R3	72.5	86.6	40.4	
R4	71.2	85.0	34.4	

※診療所の療養病床は佐渡医院だけのため記載しない。

#### R4年度病院報告(参考)

病院全国平均：一般69%、療養84.7%

#### 平均在院日数 (日)

年度	病院		診療所	
	一般	療養	一般	療養
R2	35.6	208.2	7.5	
R3	33.3	188.2	7.6	
R4	35.4	190.6	8.3	

※平均在院日数は、みちのく療育園メディカルセンター及び県立療育センターを除く

※診療所の療養病床は佐渡医院だけのため記載しない。

#### R4年度病院報告(参考)

病院全国平均：一般16.2日、療養126.5日

盛岡圏域：17.9日、療養134.5日

## 5 地域包括ケア病棟・病床

R5.7.1現在 (単位:床)

病院名	病床機能			計	ポスト アキュート	サブ アキュート
	急性期	回復期	慢性期			
盛岡市立病院	60	0	0	60	30	30
川久保病院	50	0	0	50	30	20
八角病院	0	20	0	20	15	5
中津川病院	5	27	0	32	27	5
南昌病院	0	24	0	24	12	12
国立盛岡医療センター	0	51	0	51	31	20
滝沢中央病院	0	16	0	16	8	8
盛岡友愛病院	0	45	0	45	22	23
内丸病院	0	29	0	29	13	16
孝仁病院	0	25	0	25	12	13
医療法人遠山病院	0	16	0	16	13	3
八幡平市立病院	0	36	0	36	12	24
松園第二病院	0	14	0	14	14	0
国民健康保険葛巻病院	0	27	0	27	21	6
鶯宿温泉病院	0	14	0	14	2	12
合計 (R5)	115	344	0	459	262	197
	25.1%	74.9%	0.0%	100%	57.1%	42.9%
合計 (R4参考)	153	296	0	449	222	227
	34.1%	65.9%	0.0%	100%	49.4%	50.6%

## 6 介護医療院

事業所名称	指定年月日	定員	備考
渋民中央病院 介護医療院	2020/4/1	60	
介護医療院 とおやま	2021/8/1	66	
鎌田内科クリニック	2023/2/1	18	
介護医療院 及川内科クリニック	2020/3/25 2023/9/1	16	2020.3に老人保健施設14床を医療介護院に転換、その後1床増床。 2023.9に一般病床1床を介護医療院に転換。
医療法人共生会松園第一病院	2024/1/28	120	

盛岡構想区域における地域医療構想に係る具体的対応方針 集計（病院） ※令和5年度調査

資料7-2

No.	医療機関名	救急告示／二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等				
1	岩手医科大学 附属病院	救急告示／二次救急	2023 (R5) 調査	883	0	0	25	908	0	24	内、消内、肝内、糖・代、循内、内分泌、腎内、呼内、心療、アレ、血・腫、神内、老内、外、消外、肝外、乳外、小外、気管食道外、脳外、呼外、心外、整形、リハ、リウ、形成、頭頸部外、美外、産婦、小児、耳鼻咽、眼、皮、泌、放診、放治、麻、精、児精、救急、臨床検査、病理、緩和、歯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定機能病院であり、岩手県高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター等の機能を有しており、「高度急性期病床」を中心としている。</li> <li>・5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）に対応する診療科を備えているほか、都道府県がん診療連携拠点病院としての役割を担っている。</li> <li>・5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児（救急）医療）については、高度救命救急センター、災害拠点病院、総合周産期母子医療センターの指定を県より受け、活動している。</li> <li>・中核病院として地域の医療機関と連携パスを共有し、がん治療に関する連携体制を取っている（がん治療連携計画策定料）他、感染防止対策における他医療機関とのカンファレンス等、多方面の地域連携の取り組みを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳卒中及び心血管疾患への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していくこと。</li> <li>・在宅医療等に必要人材の育成（看護師の特定行為研修など）を進めること。</li> <li>・周産期医療などの提供体制は、施設と人材の充実を図ること。</li> <li>・3次救急医療の提供体制を維持すること。</li> <li>・紹介受診重点医療機関として、地域における病院の機能の分化及び連携の強化を進め、特定機能病院の役割を果たしていくこと。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	883	0	0	25	908	0	24			
2	内丸メディカルセンター	／	2023 (R5) 調査	0	50	0	0	50	0	0	内、消内、肝内、糖・内、循内、内分泌、腎内、呼内、血・腫、心療、アレ、神内、老内、外、消外、肝外、乳外、気管外、脳外、整、リハ、リウ、婦人、耳鼻、眼、皮、泌、臨検、歯科、矯正、小歯、歯科口腔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来は、岩手医科大学の附属センターとして特性を生かし、専門科による迅速な検査・診断を行う高度な外来機能を持った医療機関。昨年、320列CTを導入し、外来機能の更なる充実を図った。また、患者を総合的に診るプライマリケアにも力を入れている。</li> <li>・入院は、日帰りや短期入院、短期滞在手術などを中心に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来は、専門科による迅速な検査・診断を行う高度外来機能を継続し、地域医療の拠点としての役割を担っていきたい。また、プライマリケアの充実を図り、総合診療医の育成にも寄与する。</li> <li>・睡眠医療センター、肥満症外科治療センターなど、複数専門科による横断的な治療により、生活習慣病などにも対応していく。</li> <li>・外来から在宅までの切れ目のない医療提供ができるよう、訪問看護にも力を入れていく。</li> <li>・入院は、日帰りや短期入院を継続し、地域包括ケア、回復期等を担う病床についても検討する。</li> <li>・初期救急医療は、周辺の医療機関と役割分担を協議しながら、今後の体制を検討する。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	50	0	0	50	0	0			
3	岩手県立中央病院	救急告示／二次救急	2023 (R5) 調査	325	360	0	0	685	0	0	内、血内、腎・リウ、糖・内、消内、消外、外、乳・内分、放、麻、精、呼内、循内、小、心外、整形、形成、脳外、皮、泌、産、婦、眼、耳、呼外、小外、脳内、リハ、歯口腔外、病理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立病院のセンター病院として、全県を対象とした救急医療や高度・専門医療等、高度急性期医療を中心に提供</li> <li>・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療、緩和ケアを提供</li> <li>・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修会の実施</li> <li>・地域周産期母子医療センターとして、比較的高度な周産期医療を提供</li> <li>・医師の不足する地域への診療応援などを実施</li> <li>・臨床研修病院、新専門医制度の専攻医受入れ</li> <li>・地域災害拠点病院として、DMATの派遣や被災地の重症傷病者を受入れ</li> <li>・県内4カ所目の救命救急センターとして、地域における救急医療の重要な役割を担っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、県立病院のセンター病院として高度急性期医療を中心に行い、医師や医療技術者等の人材育成、地域災害拠点病院としてDMATの派遣や被災地内の重傷傷病者の受入れを行う。</li> <li>・救急医療需要の変化に対応するため、体制を強化。</li> <li>・医師の不足する地域への診療応援など、公立医療機関等への地域医療支援を強化。</li> <li>・地域医療支援病院として、紹介患者の積極的な受入れ、地域の医療従事者に対する研修の開催など、かかりつけ医等への支援、連携を強化する。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	325	360	0	0	685	0	0			

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
4	盛岡赤十字病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	324	0	22	346	0	52	内、血内、精、脳内、呼内、消内、循内、小、外、小外、消外、緩和、整形、脳外、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、リハ、病理 ・ 基幹災害拠点病院として、東日本大震災と平成28年台風10号災害で傷病者を受入れるとともに、被災地に救護班を派遣し診療にあたった。また近年では、平成30年北海道胆振東部地震と平成元年台風19号災害（宮城県）にDMATを派遣した。 ・ 地域医療支援病院として、医療機関や介護・福祉施設等と連携し、紹介患者や救急患者の受入れに務めている。 ・ 地域周産期医療センターとして、比較的高度な周産期医療を必要とする患者を受入れている。 ・ 臨床研修指定病院として、医師の育成に務めている。 ・ 新型コロナウイルス感染症に対しては、ワクチン個別接種とPCR行政検査の検体採取、特例措置として休棟病床を利用して入院患者の診療と積極的に対応している。 ・ 令和4年度は1,938件の救急車を受入れた。がん診療では、2022年は829件がん登録をした。	当院は、今後も「急性期」を継続する予定です。2020年10月に病床数を40床削減しており、新型コロナウイルス感染症の影響により外傷や感染症等の入院患者が減少しているため、令和5年度中に休棟病床（44床）の削減も検討している。 ※病床種別と病床機能で稼働病床数が一致しないのは、人間ドック（8床）を病床機能では入れていないため。
			2025 (R7) 見込	0	324	0	22	346	0	52		
5	盛岡市立病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	180	0	0	180	0	0	内、脳内、呼、消、循、糖・代、腎、外、整、脳外、皮、泌、眼、放、麻、精、菌 ・ 少子高齢化社会の医療に対応するため、病床区分の考え方を「高度急性期・地域包括期・慢性期（日本慢性期医療協会会長武久洋三氏提唱）」という分類の中で、当院は地域包括期である亜急性期～回復期を担い、地域包括ケアシステムを推進している。 ・ さらに、医大移転後の初期救急の受入れの充実とともに、身体合併症のある精神神経症等患者を積極的に受入れている。 ・ 感染症指定医療機関として、支援病院や岩手県の支援を受け、新型コロナウイルス感染症に積極的に対応している。	・ 高度急性期を担う大規模病院が対応しきれない、地域に密着した生活支援型の医療を引き続き提供する。 ・ 医師会や他の医療機関と連携し、初期及び二次救急病院として、積極的に救急医療を提供する。 ・ 感染症病床を有する病院として、新型コロナウイルス感染症を含めた感染症医療を提供する。 ・ 政策医療として、認知症のほか、身体合併症を有する精神疾患患者を受け入れていく。 ・ 医師（研修医を含む）や医療技術者等の研修・養成支援を通じた人材育成を行いながら、医療の質を高め、良質な医療を提供する。 ※R7：急性期△18
			2025 (R7) 見込	0	102	60	0	162	0	18		
6	栃内病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	109	0	0	109	0	0	内、外、整外、脳外、形、リ、麻 ・ 標榜診療科の中でも、整形外科領域の急性期医療に特化した医療機関である。 【令和4年度実績】 ・ 手術件数 1,226件 ・ 在宅復帰率 92.3% ・ 救急告示病院として圏域内を中心に患者を受入れており、令和4年度の延べ患者数は外来 42,449人（うち新患5,731人）、入院は19,039人である。また、救急車で搬入患者数は393人である。 ・ 圏内の二次救急医療機関となっており、年度間の二次救急患者数は855人、うち229人は救急車搬入患者の受入れである。 ・ 日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本手外科学会研修施設の認定施設であり、また岩手医科大学整形外科学講座臨床実習病院となっており高度臨床実習に係る学生を受入れ指導を行っている。 また、新専門医制度研修連携施設にも認定され医師の育成にも寄与する予定である。	●地域において担うべき役割として、現病院の機能を継続することを中心に以下の役割を担う。 ①救急告示病院並びに二次救急病院を継続していくことの役割 ②整形外科領域の急性期病院としての役割 ③圏域の医療機関並びに介護・福祉関係機関との連携を推進し、1.5～2次患者を受入れる役割。  上記の役割を追求していくためにも、令和5年度に病院移転新築を行い設備の充実を図った。引き続き医師、看護師等人材の確保・育成に注力していく。 また、地域医療構想を踏まえながら医療体制を検討していく。  ※19床についてはR5年度中に削減（協議済）
			2025 (R7) 見込	0	90	0	0	90	0	19		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
7	赤坂病院	／	2023 (R5) 調査	0	24	0	0	24	0	28	泌、皮、内、消内、歯 ・皮膚、泌尿器科を中心に内科も診療し、歯科を併設している。 ・泌尿器科は人工透析は実施していないものの、急性期の患者さんを中心に、県全域、岩手医科大学附属病院や県立中央病院からも受け入れている。 ・地域密着型の病院として、小規模病院ではあるが地域に喜ばれる病院を目指している。	・稼働病床数が減っていることから、許可病床数を52床から20床に減らす予定と考えております。 ※4床についてはR5年度中に削減（協議済み）
			2025 (R7) 見込	0	20	0	0	20	0	32		
8	盛岡医療生活協同組合川久保病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	60	60	0	120	0	0	内、小、眼、リハ、整、歯、小歯、歯科口腔 ・二次救急医療をおこなっている ・在宅療養支援病院として在宅医療を提供している ・無料低額診療実施医療機関として生計困難者の診療を受け入れている ・地域包括ケア病床を有し、不足する回復期機能を担う ・急性期医療から慢性期医療、地域・介護をつなぐ役割を担っている ・虚弱高齢者でもリハビリを含めた適切な医療を提供し、社会・在宅復帰に向けた様々な支援を行っている	・二次救急医療を維持 ・地域で不足すると見込まれる回復期機能（地域包括ケア病棟）を担う
			2025 (R7) 見込	0	60	60	0	120	0	0		
9	東八幡平病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	50	100	0	150	0	0	脳外、内、消、神内、小、整、外、皮、放、リ、歯、呼吸器内、リウマチ膠原病内 ・脳血管疾患や運動器疾患等への治療を行うとともに、各診療科の連携の下に地域リハビリテーション医療を推進する。 ・地域医療を主体として、総合診療科や消化器（内視鏡）内科、呼吸器内科、リウマチ膠原病科などの専門外来を行い、地域住民の安心安全を守る。	・一般病床ならびに回復期病床を中心に一次・二次医療を担いつつ、関連機関との相互連携を大切にして地域包括ケアシステムの山間地域モデルを目指す。 ・地域包括ケアシステム構築への支援体制を担いつつ、少子・高齢化そして人口減少する地域における街づくりへの一端を担いたいと考えている。
			2025 (R7) 見込	0	50	100	0	150	0	0		
10	八角病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	30	20	0	50	0	0	内、胃腸、消内、肝内、内視、糖代、外、脳外、整形 ・総合内科専門医、消化器病の専門医を中心に地域のかかりつけ医として幅広い疾患を診療し、また50床の病床を高い稼働率で運用し、地域包括ケアシステムの構築を進めている。 ・盛岡北部圏域を中心に、二次救急医療機関として、365日24時間体制で救急患者を受け入れている。 ・消化器内視鏡専門医による内視鏡検査を積極的に行い、人間ドッグや企業健診、特定健診等の実施により病気の予防、及び早期発見に取り組んでいる。 ・肝疾患診療専門医療機関として、肝炎に対する治療や肝がんの早期発見、肝硬変の管理など肝疾患の診療を実施している。 ・基幹病院からのがん患者の受け入れ、緩和ケアを実施している。 ・在宅療養支援病院として、訪問診療を行い、緊急時の連絡体制及び往診体制をとっている。	・引き続き、総合内科として地域のかかりつけ医としての診療、及び二次救急医療機関として盛岡北部圏域を中心に、365日24時間体制で救急患者の受け入れを実施。 ・亜急性期機能を中心としつつ、在宅復帰に向けたリハビリや回復期機能（地域包括ケア病床）を担う。 ・在宅医療を充実させ、地域医療を担う。 ・保健予防活動（人間ドッグ・企業健診等）を強化し、病気の早期発見、早期治療につなげていく。
			2025 (R7) 見込	0	30	20	0	50	0	0		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
11	栃内第二病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	44	100	0	144	0	0	内、神内、外、整形、脳外、リハ、麻、リウ、歯、歯外 ・岩手県保健医療計画（2018-2023）に基づき二次保健医療圏として地域医療を基礎としながら主に脳血管疾患と運動器疾患の回復期機能（回復期リハビリテーション病棟）を担う。 ・救急告示病院として地域の救急医療の一翼を担っている。	・岩手県保健医療計画（2018-2023）に基づき二次保健医療圏として地域医療を基礎としながら主に脳血管疾患と運動器疾患の回復期機能（回復期リハビリテーション病棟）を追加し担う。 ・救急告示病院として地域の救急医療の一翼を担う。 ・歯科、歯科口腔外科、（障がい者歯科）の開設に伴い、口腔ケアの推進、脳卒中発症後の口腔機能の回復、誤嚥性肺炎の予防に向けた専門的な口腔ケアなど、患者の予後の改善等を図る為、医科と歯科の連携による取り組みを行う。
			2025 (R7) 見込	0	44	100	0	144	0	0		
12	一般財団法人岩手済生医会 中津川病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	24	27	0	51	0	0	内、呼、循、リ ・地域包括ケア病床を有する機能強化型在宅療養支援病院であり、盛岡市街地北東に位置する数少ない有床病院として、地域包括ケアシステムの構築の実現に寄与している。 ・高度急性期病院で治療が行われた患者を転院で受け入れ、リハビリテーションを提供しつつ、家族やケアマネージャー（介護支援専門員）と協力して療養環境の整備を行い、在宅復帰支援を積極的に行っている。 ・地域の無床診療所における軽症から中等症の入院治療適応患者を積極的に受け入れ、地域における病診連携を推進している。 ・病院内に訪問看護ステーションを開設し連携することで、医療度の高い患者の在宅療養から在宅看取りまで対応している。	・地域包括ケアシステム構築と病診連携のさらなる推進。 ・訪問診療による在宅療養支援と訪問看護ステーションの拡充。 ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスガイドライン」に沿った看取りの提供。
			2025 (R7) 見込	0	24	27	0	51	0	0		
13	南昌病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	42	60	78	180	0	0	内、脳内、循内、外、整形、脳外、リハ ・早期在宅復帰のため回復期のリハビリに積極的に取り組んでいる。 ・地域包括ケア病床を有し、ポストアキュート、サブアキュートの受入れ、在宅や生活復帰を支援している。 ・療養病棟では、継続治療を必要とする患者や神経難病等の治療を提供している。 ・盛岡南部地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け、高齢者の介護予防等に関する研修、啓蒙活動等に努めている。	・2021年11月から急性期病床19床、医療療養病床78床に変更し、2022年6月から急性期病床1床減床して18床に、地域包括ケア病床1床増床して24床とした。 ・回復期の医療機能をより一層推進し、リハビリテーションによる在宅復帰機能を強化していく。 ・医療、介護、福祉との連携強化を図り、必要とされる医療機能の整備に努める。 ・地域と連携・協働し、在宅患者への支援を行っていく。 ・リハビリテーションの医療資源を活用し、研修・啓発活動など医療技術者の育成を行う。 ・入院患者の利用状況に応じた病床再編の一貫として、地域包括ケア病床の増床並びに地域で必要とされる療養病床機能及び病床数について検討していく。
			2025 (R7) 見込	0	42	60	78	180	0	0		
14	独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	55	51	131	237	0	13	内、呼内、神内、循内、消内、ア、リウ、小、外、整外、泌、リハ、放、麻、歯 ・呼吸器系疾患、骨・運動器疾患の急性期から回復期までの医療機能を担っている。 ・神経難病、結核、免疫異常（リウマチ・膠原病）の政策医療を担っている。 ・岩手県アレルギー疾患医療拠点病院	・重度心身障害児（者）の慢性期医療、小児専門医療、盛岡医療圏における小児救急医療の急性期医療を実施。 ・呼吸器系疾患、骨・運動器疾患の急性期から回復期までの医療機能提供を維持。 ・岩手県アレルギー疾患医療拠点病院として診療、情報提供、人材育成、研究、学校等への助言、支援の実施。
			2025 (R7) 見込	0	55	51	144	250	0	0		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
15	医療法人社団松誠 会滝沢中央病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	0	40	46	86	0	0	内、外、婦、皮、呼内、循内、糖内、内視、総診、乳外、アレ、リハ ・高度急性期病院からのポストアキュート機能 ・地域住民や介護施設等からのサブアキュート機能 ・医療必要度が高い長期療養患者の受入れを行っている。 ・退院後、自法人ならびにグループ法人介護保険施設への入所など医療から介護の連携調整を行っている。	・地域密着の病院として、回復期及び慢性期医療を提供。 ・介護事業所との連携を密にして、高齢化社会における在宅および施設での生活のバックアップを行う。
			2025 (R7) 見込	0	0	40	46	86	0	0		
16	社団医療法人盛岡 つなぎ温泉病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	50	48	72	170	0	0	内、呼内、アレ、消内、循内、脳内、糖内、外、整外、脳外、リハ ・二次救急医療輪番病院としての役割を担っている ・専門的な呼吸器病治療(人工呼吸器40台以上常時稼働) ・リハビリテーションを365日実施 ・盛岡圏域新型インフルエンザ等医療体制における協力病院であり、岩手県在宅難病患者一時入院医療機関 ・協力型臨床研修病院として地域医療研修を実施し、初期臨床研修医を受入れ ・在宅療養支援病院として、在宅医療を24時間体制でサポートし、終末期ケアを実施	・急性期医療を中心としつつ、回復期機能・療養機能・在宅機能を担い、入院から在宅まで一貫とした、患者ニーズに沿った安心できる医療を提供する。 ・2026年9月から本館建替えに伴い回復期病棟を+12床(48床→58床)、療養病棟を△20床(72床→52床)とし、4病棟体制(合計170床)を3病棟体制(合計160床)とする計画である。 ・呼吸不全等による酸素療法・人工呼吸器管理・呼吸器リハビリを必要とする呼吸器疾患の総合的医療を各専門部門とチーム医療で専門的な呼吸器病治療を行う。 ・365日体制で質の高いリハビリを提供し早期の社会復帰・在宅復帰を支援する。
			2025 (R7) 見込	0	50	48	72	170	0	0		
17	医療法人友愛会 盛 岡友愛病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	105	192	78	375	0	11	内、呼内、消内、循内、脳内、心内、肝内、外、呼外、乳外、心外、消外、肛外、緩和ケア外科、整形、形成、アレ、リウ、泌、眼、耳、婦、小、皮、リハ、放、麻、歯、矯正、小歯 ・急性期・回復期リハビリテーション・慢性期(障害者)・緩和ケア・地域包括ケア病棟に透析センター、健診センターを併設し、疾病予防から終末期までを包括する。 ・高度急性期・急性期病院・地域のクリニックからの患者を受け入れ、治療・リハビリテーションを通じて在宅復帰を支援する。	・透析センターと回復期リハビリテーション病棟(135床)を有する圏域唯一の病院として、受け入れの強化と診療の質向上を図る。地域包括ケア病棟のサブアキュート機能を強化する。 ・脳卒中・循環器病対策基本法に基づいた健診・リハビリテーション・緩和ケアなどを推進する。 ・休床していた23床のうち12床を令和5年10月に回復期病棟に転換し稼働した。今後も残りの休床(11床)を稼働させることを目標として、医療情勢に柔軟に対応しながら運営していく。
			2025 (R7) 見込	0	105	203	78	386	0	0		
18	医療法人青樹会内 丸病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	31	29	30	90	0	0	内、消内、循内、外、整形、リハ ・急性期一般病床、地域包括ケア病床、療養病床を有しており、軽度急性期から回復期、慢性期まで対応している。 ・訪問診療を実施しており訪問看護ステーションを併設。 ・介護老人保健施設、特別養護老人ホームの協力病院である。 ・救急告示病院である。	・在宅部門により力を入れ、引き続き在宅復帰を支援するポスト&サブアキュートを担う役割を継続していく。 ・医療・介護連携を基に訪問診療及び訪問看護を拡充し、患者様が安心して在宅や施設での療養を継続できるよう体制を整える。
			2025 (R7) 見込	0	31	29	30	90	0	0		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等				
19	社団医療法人啓愛会 孝仁病院		2023 (R5) 調査	0	0	60	120	180	0	0	内、外、整、リウ、乳外、婦、泌、放、麻、リハ、皮	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期医療機関からの転院患者を受入れ、長期療養を有する高齢者が多い。</li> <li>緩和ケア、人工透析を主としている。</li> <li>外科、麻酔科、乳腺外科の常勤医師がおり、手術もしている。</li> <li>婦人科、リウマチ、漢方等の外来も開設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療の変化を見据え、回復期及び緩和ケアにおける入院医療体制の維持と在宅機能の強化を見据えた医療体制を確保。</li> <li>入所や在宅機能をもつ福祉施設との診療連携を維持するため、医療提供体制を維持。</li> <li>医療資源の状況を踏まえ、専門的分野での一部急性期医療（外科、乳腺外科、麻酔科）の整備、拡充も検討。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	60	120	180	0	0			
20	医療法人遠山病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	18	16	36	70	0	0	内、呼内、循内、外、胃外、整、皮、婦	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型病院として、訪問診療、健診・人間ドックから二次救急、急性期の医療一般病床及び長期療養に対応した医療療養病床・介護療養病床を持ち地域医療を行っている。</li> <li>法人内に多様な介護事業を持ち、退院後の自宅療養にも対応している。今後は、法人の訪問診療・訪問看護・訪問介護・通所リハ・居宅など在宅分野との連携を強化し、外来から入院及び退院後に適宜求められる医療介護を提供していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期機能を中心としつつ、地域で不足すると見込まれる回復期機能（地域包括ケア病棟）を担う。</li> <li>令和7年度までに、当院の病床機能を検討し、盛岡区域の病床数の適正化のため、病床削減し、全床地域包括ケア病床への転換を計画している。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	20	40	0	60	0	10			
21	高松病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	40	0	55	95	0	0	内、外、整外、麻、リハ	<ul style="list-style-type: none"> <li>～地域において「包括的な医療(治療→在宅復帰支援→訪問診療)」を提供する～</li> <li>周辺地域の住民・介護施設等より軽症から軽症急性期（サブアキュート）の患者を受入れる。</li> <li>一般病床の他、療養病床を有している事で、周辺医療機関からの受け皿として機能している。</li> <li>※長期療養並びに在宅復帰、看取りの支援まで</li> <li>在宅専任の医師/看護師/事務により24時間体制の訪問診療を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療並びにリハビリ機能の充実化</li> <li>患者構成や地域需要、病床機能計画の観点を中心に、病床構成の再編を検討する(より地域で求められる機能への転換と体制強化へ向ける。)</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	40	0	55	95	0	0			
22	いわてリハビリテーションセンター		2023 (R5) 調査	0	0	100	0	100	0	0	リハ科、脳内、脳外、整外	<ul style="list-style-type: none"> <li>常勤医師6名中4名がリハビリテーション科専門医の有資格者であり、岩手県の回復期リハビリテーション病棟の専門的役割を担っている。</li> <li>退院患者さんを対象として、外来リハビリのみならず、訪問リハビリ、訪問看護、通所リハビリを実施し、退院後のフォローも実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回復期リハビリテーション病棟を中心として運営していくが、今後、障害者病棟についても検討していく。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	100	0	100	0	0			
23	八幡平市立病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	60	0	60	0	0	内、外、小、整、リウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県地域医療構想を踏まえ、地域包括ケア病床を継続し回復期と在宅医療の推進に向けた役割を担う。</li> <li>急性期から回復期へ切れ目のない医療を提供するため、急性期患者が多い県立中央病院などと連携している。</li> <li>在宅療養者支援のため、訪問診療、訪問看護を実施。</li> <li>救急告示病院として、時間外、救急車搬送を受け入れ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域には急性期の大規模病院が集積しているため、手術後の経過観察の受け皿となる病院施設の体制が必要。その後方支援として、回復期の紹介患者の受け入れ。</li> <li>地域の医療ニーズに対応するため、専門外来の充実と在宅療養者の支援体制の強化により、地域完結型医療を目指す。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	60	0	60	0	0			

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等				
24	萩野病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	58	0	58	0	0	内、リハ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来では、地域のみなさまが気軽に相談できる「かかりつけ医」を目指しています。</li> <li>・入院病棟では急性期を脱した回復期のリハビリを中心にしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ますます進む超高齢化社会に向けて、障害をお持ちの患者さんやご高齢の患者さんの自立度をUpするお手伝いに尽力します。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	58	0	58	0	0			
25	医療法人社団恵仁会 三愛病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	60	0	60	0	0	内、循内、呼内、アレ、消・肝内、糖・代、血内、腎内、泌(腎臓、透析、性感染症)、心外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工腎臓装置135台を有しており、約470人の実透析患者が週3回(日中・中間・夜間)1日約220人が血液透析を受けている。</li> <li>・透析患者の中には合併症を抱える患者も少なくないことから、循環器内科や心臓血管外科を含む10の診療科で対応している。</li> <li>・腎臓病教室を定期開催しており、慢性腎臓病患者の腎代替療法選択について情報提供に努めている。</li> <li>・高度急性期医療機関や地域の専門医療機関、介護・福祉施設等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の役割を引き続き担っていく。</li> <li>※8床については、R5.10に削減済み</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	52	0	52	0	8			
26	医療法人共生会松園第二病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	59	30	89	0	0	内、神内、消内、循内、外、整形、リウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松園地区の地域医療を支えている。</li> <li>・複数の看護学校の実習施設となっている。</li> <li>・日帰り人間ドック、生活習慣病予防健診など予防医療も実施。</li> <li>・救急告示病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後不足すると予想される在宅医療をさらに推進する。(医師の確保が必須)</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	59	30	89	0	0			
27	国民健康保険葛巻病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	42	18	60	0	0	内、外、小、産婦、眼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病床と地域包括ケア病床における回復期機能を有している。介護療養病床を併設し(R6.3まで)、現在はショートステイの運用で町の介護施設等との調整を行っている。</li> <li>・救急告示病院として、365日24時間体制で当町のみならず、近隣市町村の住民への対応を行っている。</li> <li>・生活習慣予防などの疾病予防として、町と連携し医師による健康講話等に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護療養病床はR6.3月で廃止し、一般病床への転換の検討。</li> <li>・回復機能の維持、充実のため地域包括ケア病床の増床を含む運用の検討。</li> <li>・町と連携した人材確保と積極的な人材育成支援。</li> <li>・認知症患者への対応に伴う専門的知識の更なる習得。</li> <li>・訪問診療、訪問看護など在宅医療の推進。</li> <li>・健康寿命の延伸を図るため、保険者(町)及び関係機関と連携し、生活習慣病予防対策を推進。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	60	0	60	0	0			
28	鶯宿温泉病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	14	74	88	0	0	整、麻、内、外、リハ、リウ、消、循	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雫石町、西和賀町地区を中心に地域住民のかかりつけ医としての役割。</li> <li>・救急告示病院に認定され、地域の二次救急病院(当番病院)の役割を担っている。</li> <li>・また近隣介護施設等の協力病院を担い救急の受入れ及び診療所等の後方支援(入院受入れ)を担当。</li> <li>・整形外科及び麻酔科並びにリハビリテーション科領域を中心とした医療提供を行っている。</li> <li>・入院はリハビリや人工呼吸器等の対応も可能。長期に渡る療養や介護を目的とした患者の受入れ。</li> <li>・地域包括ケア病床(14床)によりポスト及びサブアキュートの回復期機能を担っている。</li> <li>・療養型介護老人保健施設を併設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域に根ざした医療提供とリハビリテーションや医療依存度の高い入院患者への対応し、地域住民や介護施設等のサブアキュートを担っていく。</li> <li>・在宅医療の拡充を推進し、限られた病床の効率化を図る。</li> <li>・併設の老健40床は介護医療院に移行(計画)。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	14	74	88	0	0			

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等				
29	医療法人社団愛和会 盛岡南病院		2023 (R5) 調査	0	0	0	164	164	0	0	内、外、整形、リハ	・県内最大規模の164床の医療療養病床を有し、岩手県全域からの入院要請にも対応 ・リハビリにも力を入れ、在宅復帰率の向上を目指しつつ、市内の介護・福祉施設や個人在宅への訪問診療を行っている	・ポストアキュート患者の受入を従来通り、断らず受け入れ、サブアキュート患者（自院の訪問診療患者、近隣の介護施設の利用者）の受入、在宅復帰を強化していく。 ・在宅復帰強化の為に、リハビリや摂食機能療法を強化していく。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	164	164	0	0			
30	医療法人仁妙光会 渋民中央病院		2023 (R5) 調査	0	0	0	117	117	0	0	整外、内、外	・急性期以後の慢性期疾患の治療と療養を目的とした患者の受入れ。病状安定期において医学的管理のもと長期に渡る療養や介護を目的とした患者の受入れ。地域住民の「かかりつけ医」としての役割を担っている。	・急性期以後の慢性期疾患の治療と療養を目的とした患者の受入れ。病状安定期において医学的管理のもと長期に渡る療養や介護を目的とした患者様の受入れ。地域住民の「かかりつけ医」としての役割を担っていく。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	117	117	0	0			
31	松園第一病院		2023 (R5) 調査	0	0	0	120	120	0	0	内、耳	・医療介護病床（60床）、介護療養病床（60床）を有し、地域の慢性期医療を担っている。	・長期にわたり療養が必要である要介護者に対し、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の介護を行うことを目的とする介護医療院に転換済（R6.1.21～）。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	0	0	120	0			
32	みちのく療育園メディカルセンター		2023 (R5) 調査	0	0	0	57	57	0	3	内、精、小、耳、リ、歯	・全域の重症心身障害者と発達障害児（者）のための福祉と医療、療育の重要な拠点施設として関連する保健、医療、福祉施設と連携して障がいのある人々の支援を総合的に実践。	・施設を利用する障がい児（者）は、入所、通所（入院、外来診療）ともに高齢化の傾向にあるので、各年代に相応した施設の整備と診療内容を物、人員共に拡充してゆく必要がある。ハード面、ソフト面共に計画的に充実して行きたい。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	60	60	0	0			
33	岩手県立療育センター		2023 (R5) 調査	0	0	0	44	44	0	16	小、整形、児精、神内、泌、眼、耳、歯、リハ	・医療型障害児入所施設、医療型児童発達支援センター、児童発達支援・生活介護事業所、岩手県発達障がい者支援センター、障害者支援施設を併設した多機能型の施設であり岩手県の障がい児（者）療育の中核施設である。	・本県の障がい児（者）療育の中核機能を担う施設として、より高度な小児医療連携体制と重症心身障がい児（者）への支援体制を目指すことから、それぞれの機能が総合的・効率的に連携が図られるよう各種委員会等により運営体制の安定に向けた検討を行っている。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	50	50	0	10			
合計又は平均			21 ／ 11	1,208	1,596	1,196	1,317	5,317	0	147	稼働病床に対する利用率及び平均在院日数については、松園第一病院（介護医療院転換済み）、みちのく療育園メディカルセンター及び岩手療育センターを除く	-	
			2025 (R7) 見込	1,208	1,497	1,301	1,165	5,171	120	173			
			増減	0	-99	105	-152	-146	120				

盛岡構想区域における地域医療構想に係る具体的対応方針 集計（病院） ※令和5年度調査

資料7-2

No.	医療機関名	救急告示／二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
1	岩手医科大学 附属病院	救急告示／二次救急	2023 (R5) 調査	883	0	0	25	908	0	24	内、消内、肝内、糖・代、循内、内分泌、腎内、呼内、心療、アレ、血・腫、神内、老内、外、消外、肝外、乳外、小外、気管食道外、脳外、呼外、心外、整形、リハ、リウ、形成、頭頸部外、美外、産婦、小児、耳鼻咽、眼、皮、泌、放診、放治、麻、精、児精、救急、臨床検査、病理、緩和、歯 ・特定機能病院であり、岩手県高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター等の機能を有しており、「高度急性期病床」を中心としている。 ・5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）に対応する診療科を備えているほか、都道府県がん診療連携拠点病院としての役割を担っている。 ・5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児（救急）医療）については、高度救命救急センター、災害拠点病院、総合周産期母子医療センターの指定を県より受け、活動している。 ・中核病院として地域の医療機関と連携パスを共有し、がん治療に関する連携体制を取っている（がん治療連携計画策定料）他、感染防止対策における他医療機関とのカンファレンス等、多方面の地域連携の取り組みを実施している。	・脳卒中及び心血管疾患への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していくこと。 ・在宅医療等に必要人材の育成（看護師の特定行為研修など）を進めること。 ・周産期医療などの提供体制は、施設と人材の充実を図ること。 ・3次救急医療の提供体制を維持すること。 ・紹介受診重点医療機関として、地域における病院の機能の分化及び連携の強化を進め、特定機能病院の役割を果たしていくこと。
			2025 (R7) 見込	883	0	0	25	908	0	24		
2	内丸メディカルセンター	／	2023 (R5) 調査	0	50	0	0	50	0	0	内、消内、肝内、糖・内、循内、内分泌、腎内、呼内、血・腫、心療、アレ、神内、老内、外、消外、肝外、乳外、気管外、脳外、整、リハ、リウ、婦人、耳鼻、眼、皮、泌、臨検、歯科、矯正、小歯、歯科口腔 ・外来は、岩手医科大学の附属センターとして特性を生かし、専門科による迅速な検査・診断を行う高度な外来機能を持った医療機関。昨年、320列CTを導入し、外来機能の更なる充実を図った。また、患者を総合的に診るプライマリケアにも力を入れている。 ・入院は、日帰りや短期入院、短期滞在手術などを中心に行っている。	・外来は、専門科による迅速な検査・診断を行う高度外来機能を継続し、地域医療の拠点としての役割を担っていきたい。また、プライマリケアの充実を図り、総合診療医の育成にも寄与する。 ・睡眠医療センター、肥満症外科治療センターなど、複数専門科による横断的な治療により、生活習慣病などにも対応していく。 ・外来から在宅までの切れ目のない医療提供ができるよう、訪問看護にも力を入れていく。 ・入院は、日帰りや短期入院を継続し、地域包括ケア、回復期等を担う病床についても検討する。 ・初期救急医療は、周辺の医療機関と役割分担を協議しながら、今後の体制を検討する。
			2025 (R7) 見込	0	50	0	0	50	0	0		
3	岩手県立中央病院	救急告示／二次救急	2023 (R5) 調査	325	360	0	0	685	0	0	内、血内、腎・リウ、糖・内、消内、消外、外、乳・内分、放、麻、精、呼内、循内、小、心外、整形、形成、脳外、皮、泌、産、婦、眼、耳、呼外、小外、脳内、リハ、歯科口腔外、病理 ・県立病院のセンター病院として、全県を対象とした救急医療や高度・専門医療等、高度急性期医療を中心に提供 ・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療、緩和ケアを提供 ・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修会の実施 ・地域周産期母子医療センターとして、比較的高度な周産期医療を提供 ・医師の不足する地域への診療応援などを実施 ・臨床研修病院、新専門医制度の専攻医受入れ ・地域災害拠点病院として、DMATの派遣や被災地の重症傷病者を受入れ ・県内4カ所目の救命救急センターとして、地域における救急医療の重要な役割を担っている。	・引き続き、県立病院のセンター病院として高度急性期医療を中心に行い、医師や医療技術者等の人材育成、地域災害拠点病院としてDMATの派遣や被災地内の重傷傷病者の受入れを行う。 ・救急医療需要の変化に対応するため、体制を強化。 ・医師の不足する地域への診療応援など、公立医療機関等への地域医療支援を強化。 ・地域医療支援病院として、紹介患者の積極的な受入れ、地域の医療従事者に対する研修の開催など、かかりつけ医等への支援、連携を強化する。
			2025 (R7) 見込	325	360	0	0	685	0	0		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
4	盛岡赤十字病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	324	0	22	346	0	52	内、血内、精、脳内、呼内、消内、循内、小、外、小外、消外、緩和、整形、脳外、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、リハ、病理 ・ 基幹災害拠点病院として、東日本大震災と平成28年台風10号災害で傷病者を受入れるとともに、被災地に救護班を派遣し診療にあたった。また近年では、平成30年北海道胆振東部地震と平成元年台風19号災害（宮城県）にDMATを派遣した。 ・ 地域医療支援病院として、医療機関や介護・福祉施設等と連携し、紹介患者や救急患者の受入れに務めている。 ・ 地域周産期医療センターとして、比較的高度な周産期医療を必要とする患者を受入れている。 ・ 臨床研修指定病院として、医師の育成に務めている。 ・ 新型コロナウイルス感染症に対しては、ワクチン個別接種とPCR行政検査の検体採取、特例措置として休棟病床を利用して入院患者の診療と積極的に対応している。 ・ 令和4年度は1,938件の救急車を受入れた。がん診療では、2022年は829件がん登録をした。	当院は、今後も「急性期」を継続する予定です。2020年10月に病床数を40床削減しており、新型コロナウイルス感染症の影響により外傷や感染症等の入院患者が減少しているため、令和5年度中に休棟病床（44床）の削減も検討している。 ※病床種別と病床機能で稼働病床数が一致しないのは、人間ドック（8床）を病床機能では入れていないため。
			2025 (R7) 見込	0	324	0	22	346	0	52		
5	盛岡市立病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	180	0	0	180	0	0	内、脳内、呼、消、循、糖・代、腎、外、整、脳外、皮、泌、眼、放、麻、精、菌 ・ 少子高齢化社会の医療に対応するため、病床区分の考え方を「高度急性期・地域包括期・慢性期（日本慢性期医療協会会長武久洋三氏提唱）」という分類の中で、当院は地域包括期である亜急性期～回復期を担い、地域包括ケアシステムを推進している。 ・ さらに、医大移転後の初期救急の受入れの充実とともに、身体合併症のある精神神経症等患者を積極的に受入れている。 ・ 感染症指定医療機関として、支援病院や岩手県の支援を受け、新型コロナウイルス感染症に積極的に対応している。	・ 高度急性期を担う大規模病院が対応しきれない、地域に密着した生活支援型の医療を引き続き提供する。 ・ 医師会や他の医療機関と連携し、初期及び二次救急病院として、積極的に救急医療を提供する。 ・ 感染症病床を有する病院として、新型コロナウイルス感染症を含めた感染症医療を提供する。 ・ 政策医療として、認知症のほか、身体合併症を有する精神疾患患者を受け入れていく。 ・ 医師（研修医を含む）や医療技術者等の研修・養成支援を通じた人材育成を行いながら、医療の質を高め、良質な医療を提供する。 ※R7：急性期△18
			2025 (R7) 見込	0	102	60	0	162	0	18		
6	栃内病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	109	0	0	109	0	0	内、外、整外、脳外、形、リ、麻 ・ 標榜診療科の中でも、整形外科領域の急性期医療に特化した医療機関である。 【令和4年度実績】 ・ 手術件数 1,226件 ・ 在宅復帰率 92.3% ・ 救急告示病院として圏域内を中心に患者を受入れており、令和4年度の延べ患者数は外来 42,449人（うち新患5,731人）、入院は19,039人である。また、救急車で搬入患者数は393人である。 ・ 圏内の二次救急医療機関となっており、年度間の二次救急患者数は855人、うち229人は救急車搬入患者の受入れである。 ・ 日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本手外科学会研修施設の認定施設であり、また岩手医科大学整形外科学講座臨床実習病院となっており高度臨床実習に係る学生を受入れ指導を行っている。 また、新専門医制度研修連携施設にも認定され医師の育成にも寄与する予定である。	●地域において担うべき役割として、現病院の機能を継続することを中心に以下の役割を担う。 ①救急告示病院並びに二次救急病院を継続していくことの役割 ②整形外科領域の急性期病院としての役割 ③圏域の医療機関並びに介護・福祉関係機関との連携を推進し、1.5～2次患者を受入れる役割。  上記の役割を追求していくためにも、令和5年度に病院移転新築を行い設備の充実を図った。引き続き医師、看護師等人材の確保・育成に注力していく。 また、地域医療構想を踏まえながら医療体制を検討していく。  ※19床についてはR5年度中に削減（協議済）
			2025 (R7) 見込	0	90	0	0	90	0	19		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
7	赤坂病院	／	2023 (R5) 調査	0	24	0	0	24	0	28	泌、皮、内、消内、歯 ・皮膚、泌尿器科を中心に内科も診療し、歯科を併設している。 ・泌尿器科は人工透析は実施していないものの、急性期の患者さんを中心に、県全域、岩手医科大学附属病院や県立中央病院からも受け入れている。 ・地域密着型の病院として、小規模病院ではあるが地域に喜ばれる病院を目指している。	・稼働病床数が減っていることから、許可病床数を52床から20床に減らす予定と考えております。 ※4床についてはR5年度中に削減（協議済み）
			2025 (R7) 見込	0	20	0	0	20	0	32		
8	盛岡医療生活協同組合川久保病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	60	60	0	120	0	0	内、小、眼、リハ、整、歯、小歯、歯科口腔 ・二次救急医療をおこなっている ・在宅療養支援病院として在宅医療を提供している ・無料低額診療実施医療機関として生計困難者の診療を受け入れている ・地域包括ケア病床を有し、不足する回復期機能を担う ・急性期医療から慢性期医療、地域・介護をつなぐ役割を担っている ・虚弱高齢者でもリハビリを含めた適切な医療を提供し、社会・在宅復帰に向けた様々な支援を行っている	・二次救急医療を維持 ・地域で不足すると見込まれる回復期機能（地域包括ケア病棟）を担う
			2025 (R7) 見込	0	60	60	0	120	0	0		
9	東八幡平病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	50	100	0	150	0	0	脳外、内、消、神内、小、整、外、皮、放、リ、歯、呼吸器内、リウマチ膠原病内 ・脳血管疾患や運動器疾患等への治療を行うとともに、各診療科の連携の下に地域リハビリテーション医療を推進する。 ・地域医療を主体として、総合診療科や消化器（内視鏡）内科、呼吸器内科、リウマチ膠原病科などの専門外来を行い、地域住民の安心安全を守る。	・一般病床ならびに回復期病床を中心に一次・二次医療を担いつつ、関連機関との相互連携を大切にして地域包括ケアシステムの山間地域モデルを目指す。 ・地域包括ケアシステム構築への支援体制を担いつつ、少子・高齢化そして人口減少する地域における街づくりへの一端を担いたいと考えている。
			2025 (R7) 見込	0	50	100	0	150	0	0		
10	八角病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	30	20	0	50	0	0	内、胃腸、消内、肝内、内視、糖代、外、脳外、整形 ・総合内科専門医、消化器病の専門医を中心に地域のかかりつけ医として幅広い疾患を診療し、また50床の病床を高い稼働率で運用し、地域包括ケアシステムの構築を進めている。 ・盛岡北部圏域を中心に、二次救急医療機関として、365日24時間体制で救急患者を受け入れている。 ・消化器内視鏡専門医による内視鏡検査を積極的に行い、人間ドッグや企業健診、特定健診等の実施により病気の予防、及び早期発見に取り組んでいる。 ・肝疾患診療専門医療機関として、肝炎に対する治療や肝がんの早期発見、肝硬変の管理など肝疾患の診療を実施している。 ・基幹病院からのがん患者の受け入れ、緩和ケアを実施している。 ・在宅療養支援病院として、訪問診療を行い、緊急時の連絡体制及び往診体制をとっている。	・引き続き、総合内科として地域のかかりつけ医としての診療、及び二次救急医療機関として盛岡北部圏域を中心に、365日24時間体制で救急患者の受け入れを実施。 ・亜急性期機能を中心としつつ、在宅復帰に向けたリハビリや回復期機能（地域包括ケア病床）を担う。 ・在宅医療を充実させ、地域医療を担う。 ・保健予防活動（人間ドッグ・企業健診等）を強化し、病気の早期発見、早期治療につなげていく。
			2025 (R7) 見込	0	30	20	0	50	0	0		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
11	栃内第二病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	44	100	0	144	0	0	内、神内、外、整形、脳外、リハ、麻、リウ、歯、歯外 ・岩手県保健医療計画（2018-2023）に基づき二次保健医療圏として地域医療を基礎としながら主に脳血管疾患と運動器疾患の回復期機能（回復期リハビリテーション病棟）を担う。 ・救急告示病院として地域の救急医療の一翼を担っている。	・岩手県保健医療計画（2018-2023）に基づき二次保健医療圏として地域医療を基礎としながら主に脳血管疾患と運動器疾患の回復期機能（回復期リハビリテーション病棟）を追加し担う。 ・救急告示病院として地域の救急医療の一翼を担う。 ・歯科、歯科口腔外科、（障がい者歯科）の開設に伴い、口腔ケアの推進、脳卒中発症後の口腔機能の回復、誤嚥性肺炎の予防に向けた専門的な口腔ケアなど、患者の予後の改善等を図る為、医科と歯科の連携による取り組みを行う。
			2025 (R7) 見込	0	44	100	0	144	0	0		
12	一般財団法人岩手済生医会 中津川病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	24	27	0	51	0	0	内、呼、循、リ ・地域包括ケア病床を有する機能強化型在宅療養支援病院であり、盛岡市街地北東に位置する数少ない有床病院として、地域包括ケアシステムの構築の実現に寄与している。 ・高度急性期病院で治療が行われた患者を転院で受け入れ、リハビリテーションを提供しつつ、家族やケアマネージャー（介護支援専門員）と協力して療養環境の整備を行い、在宅復帰支援を積極的に行っている。 ・地域の無床診療所における軽症から中等症の入院治療適応患者を積極的に受け入れ、地域における病診連携を推進している。 ・病院内に訪問看護ステーションを開設し連携することで、医療度の高い患者の在宅療養から在宅看取りまで対応している。	・地域包括ケアシステム構築と病診連携のさらなる推進。 ・訪問診療による在宅療養支援と訪問看護ステーションの拡充。 ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスガイドライン」に沿った看取りの提供。
			2025 (R7) 見込	0	24	27	0	51	0	0		
13	南昌病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	42	60	78	180	0	0	内、脳内、循内、外、整形、脳外、リハ ・早期在宅復帰のため回復期のリハビリに積極的に取り組んでいる。 ・地域包括ケア病床を有し、ポストアキュート、サブアキュートの受入れ、在宅や生活復帰を支援している。 ・療養病棟では、継続治療を必要とする患者や神経難病等の治療を提供している。 ・盛岡南部地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け、高齢者の介護予防等に関する研修、啓蒙活動等に努めている。	・2021年11月から急性期病床19床、医療療養病床78床に変更し、2022年6月から急性期病床1床減床して18床に、地域包括ケア病床1床増床して24床とした。 ・回復期の医療機能をより一層推進し、リハビリテーションによる在宅復帰機能を強化していく。 ・医療、介護、福祉との連携強化を図り、必要とされる医療機能の整備に努める。 ・地域と連携・協働し、在宅患者への支援を行っていく。 ・リハビリテーションの医療資源を活用し、研修・啓発活動など医療技術者の育成を行う。 ・入院患者の利用状況に応じた病床再編の一貫として、地域包括ケア病床の増床並びに地域で必要とされる療養病床機能及び病床数について検討していく。
			2025 (R7) 見込	0	42	60	78	180	0	0		
14	独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	55	51	131	237	0	13	内、呼内、神内、循内、消内、ア、リウ、小、外、整外、泌、リハ、放、麻、歯 ・呼吸器系疾患、骨・運動器疾患の急性期から回復期までの医療機能を担っている。 ・神経難病、結核、免疫異常（リウマチ・膠原病）の政策医療を担っている。 ・岩手県アレルギー疾患医療拠点病院	・重度心身障害児（者）の慢性期医療、小児専門医療、盛岡医療圏における小児救急医療の急性期医療を実施。 ・呼吸器系疾患、骨・運動器疾患の急性期から回復期までの医療機能提供を維持。 ・岩手県アレルギー疾患医療拠点病院として診療、情報提供、人材育成、研究、学校等への助言、支援の実施。
			2025 (R7) 見込	0	55	51	144	250	0	0		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等			
15	医療法人社団松誠 会滝沢中央病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	0	40	46	86	0	0	内、外、婦、皮、呼内、循内、糖内、内視、総診、乳外、アレ、リハ ・高度急性期病院からのポストアキュート機能 ・地域住民や介護施設等からのサブアキュート機能 ・医療必要度が高い長期療養患者の受入れを行っている。 ・退院後、自法人ならびにグループ法人介護保険施設への入所など医療から介護の連携調整を行っている。	・地域密着の病院として、回復期及び慢性期医療を提供。 ・介護事業所との連携を密にして、高齢化社会における在宅および施設での生活のバックアップを行う。
			2025 (R7) 見込	0	0	40	46	86	0	0		
16	社団医療法人盛岡 つなぎ温泉病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	50	48	72	170	0	0	内、呼内、アレ、消内、循内、脳内、糖内、外、整外、脳外、リハ ・二次救急医療輪番病院としての役割を担っている ・専門的な呼吸器病治療(人工呼吸器40台以上常時稼働) ・リハビリテーションを365日実施 ・盛岡圏域新型インフルエンザ等医療体制における協力病院であり、岩手県在宅難病患者一時入院医療機関 ・協力型臨床研修病院として地域医療研修を実施し、初期臨床研修医を受入れ ・在宅療養支援病院として、在宅医療を24時間体制でサポートし、終末期ケアを実施	・急性期医療を中心としつつ、回復期機能・療養機能・在宅機能を担い、入院から在宅まで一貫とした、患者ニーズに沿った安心できる医療を提供する。 ・2026年9月から本館建替えに伴い回復期病棟を+12床(48床→58床)、療養病棟を△20床(72床→52床)とし、4病棟体制(合計170床)を3病棟体制(合計160床)とする計画である。 ・呼吸不全等による酸素療法・人工呼吸器管理・呼吸器リハビリを必要とする呼吸器疾患の総合的医療を各専門部門とチーム医療で専門的な呼吸器病治療を行う。 ・365日体制で質の高いリハビリを提供し早期の社会復帰・在宅復帰を支援する。
			2025 (R7) 見込	0	50	48	72	170	0	0		
17	医療法人友愛会 盛 岡友愛病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	105	192	78	375	0	11	内、呼内、消内、循内、脳内、心内、肝内、外、呼外、乳外、心外、消外、肛外、緩和ケア外科、整形、形成、アレ、リウ、泌、眼、耳、婦、小、皮、リハ、放、麻、歯、矯正、小歯 ・急性期・回復期リハビリテーション・慢性期(障害者)・緩和ケア・地域包括ケア病棟に透析センター、健診センターを併設し、疾病予防から終末期までを包括する。 ・高度急性期・急性期病院・地域のクリニックからの患者を受け入れ、治療・リハビリテーションを通じて在宅復帰を支援する。	・透析センターと回復期リハビリテーション病棟(135床)を有する圏域唯一の病院として、受け入れの強化と診療の質向上を図る。地域包括ケア病棟のサブアキュート機能を強化する。 ・脳卒中・循環器病対策基本法に基づいた健診・リハビリテーション・緩和ケアなどを推進する。 ・休床していた23床のうち12床を令和5年10月に回復期病棟に転換し稼働した。今後も残りの休床(11床)を稼働させることを目標として、医療情勢に柔軟に対応しながら運営していく。
			2025 (R7) 見込	0	105	203	78	386	0	0		
18	医療法人青樹会内 丸病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	31	29	30	90	0	0	内、消内、循内、外、整形、リハ ・急性期一般病床、地域包括ケア病床、療養病床を有しており、軽度急性期から回復期、慢性期まで対応している。 ・訪問診療を実施しており訪問看護ステーションを併設。 ・介護老人保健施設、特別養護老人ホームの協力病院である。 ・救急告示病院である。	・在宅部門により力を入れ、引き続き在宅復帰を支援するポスト&サブアキュートを担う役割を継続していく。 ・医療・介護連携を基に訪問診療及び訪問看護を拡充し、患者様が安心して在宅や施設での療養を継続できるよう体制を整える。
			2025 (R7) 見込	0	31	29	30	90	0	0		

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等				
19	社団医療法人啓愛会 孝仁病院		2023 (R5) 調査	0	0	60	120	180	0	0	内、外、整、リウ、乳外、婦、泌、放、麻、リハ、皮	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期医療機関からの転院患者を受入れ、長期療養を有する高齢者が多い。</li> <li>緩和ケア、人工透析を主としている。</li> <li>外科、麻酔科、乳腺外科の常勤医師がおり、手術もしている。</li> <li>婦人科、リウマチ、漢方等の外来も開設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療の変化を見据え、回復期及び緩和ケアにおける入院医療体制の維持と在宅機能の強化を見据えた医療体制を確保。</li> <li>入所や在宅機能をもつ福祉施設との診療連携を維持するため、医療提供体制を維持。</li> <li>医療資源の状況を踏まえ、専門的分野での一部急性期医療（外科、乳腺外科、麻酔科）の整備、拡充も検討。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	60	120	180	0	0			
20	医療法人遠山病院	救急告示 ／ 二次救急	2023 (R5) 調査	0	18	16	36	70	0	0	内、呼内、循内、外、胃外、整、皮、婦	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型病院として、訪問診療、健診・人間ドックから二次救急、急性期の医療一般病床及び長期療養に対応した医療療養病床・介護療養病床を持ち地域医療を行っている。</li> <li>法人内に多様な介護事業を持ち、退院後の自宅療養にも対応している。今後は、法人の訪問診療・訪問看護・訪問介護・通所リハ・居宅など在宅分野との連携を強化し、外来から入院及び退院後に適宜求められる医療介護を提供していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期機能を中心としつつ、地域で不足すると見込まれる回復期機能（地域包括ケア病棟）を担う。</li> <li>令和7年度までに、当院の病床機能を検討し、盛岡区域の病床数の適正化のため、病床削減し、全床地域包括ケア病床への転換を計画している。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	20	40	0	60	0	10			
21	高松病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	40	0	55	95	0	0	内、外、整外、麻、リハ	<ul style="list-style-type: none"> <li>～地域において「包括的な医療(治療→在宅復帰支援→訪問診療)」を提供する～</li> <li>周辺地域の住民・介護施設等より軽症から軽症急性期（サブアキュート）の患者を受入れる。</li> <li>一般病床の他、療養病床を有している事で、周辺医療機関からの受け皿として機能している。</li> <li>※長期療養並びに在宅復帰、看取りの支援まで</li> <li>在宅専任の医師/看護師/事務により24時間体制の訪問診療を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療並びにリハビリ機能の充実化</li> <li>患者構成や地域需要、病床機能計画の観点を中心に、病床構成の再編を検討する(より地域で求められる機能への転換と体制強化へ向ける。)</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	40	0	55	95	0	0			
22	いわてリハビリテーションセンター		2023 (R5) 調査	0	0	100	0	100	0	0	リハ科、脳内、脳外、整外	<ul style="list-style-type: none"> <li>常勤医師6名中4名がリハビリテーション科専門医の有資格者であり、岩手県の回復期リハビリテーション病棟の専門的役割を担っている。</li> <li>退院患者さんを対象として、外来リハビリのみならず、訪問リハビリ、訪問看護、通所リハビリを実施し、退院後のフォローも実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回復期リハビリテーション病棟を中心として運営していくが、今後、障害者病棟についても検討していく。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	100	0	100	0	0			
23	八幡平市立病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	60	0	60	0	0	内、外、小、整、リウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県地域医療構想を踏まえ、地域包括ケア病床を継続し回復期と在宅医療の推進に向けた役割を担う。</li> <li>急性期から回復期へ切れ目のない医療を提供するため、急性期患者が多い県立中央病院などと連携している。</li> <li>在宅療養者支援のため、訪問診療、訪問看護を実施。</li> <li>救急告示病院として、時間外、救急車搬送を受け入れ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域には急性期の大規模病院が集積しているため、手術後の経過観察の受け皿となる病院施設の体制が必要。その後方支援として、回復期の紹介患者の受け入れ。</li> <li>地域の医療ニーズに対応するため、専門外来の充実と在宅療養者の支援体制の強化により、地域完結型医療を目指す。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	60	0	60	0	0			

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等				
24	萩野病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	58	0	58	0	0	内、リハ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来では、地域のみなさまが気軽に相談できる「かかりつけ医」を目指しています。</li> <li>・入院病棟では急性期を脱した回復期のリハビリを中心に行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ますます進む超高齢化社会に向けて、障害をお持ちの患者さんやご高齢の患者さんの自立度をUpするお手伝いに尽力します。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	58	0	58	0	0			
25	医療法人社団恵仁会 三愛病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	60	0	60	0	0	内、循内、呼内、アレ、消・肝内、糖・代、血内、腎内、泌(腎臓、透析、性感染症)、心外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工腎臓装置135台を有しており、約470人の実透析患者が週3回(日中・中間・夜間)1日約220人が血液透析を受けている。</li> <li>・透析患者の中には合併症を抱える患者も少なくないことから、循環器内科や心臓血管外科を含む10の診療科で対応している。</li> <li>・腎臓病教室を定期開催しており、慢性腎臓病患者の腎代替療法選択について情報提供に努めている。</li> <li>・高度急性期医療機関や地域の専門医療機関、介護・福祉施設等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の役割を引き続き担っていく。</li> <li>※8床については、R5.10に削減済み</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	52	0	52	0	8			
26	医療法人共生会松園第二病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	59	30	89	0	0	内、神内、消内、循内、外、整形、リウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松園地区の地域医療を支えている。</li> <li>・複数の看護学校の実習施設となっている。</li> <li>・日帰り人間ドック、生活習慣病予防健診など予防医療も実施。</li> <li>・救急告示病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後不足すると予想される在宅医療をさらに推進する。(医師の確保が必須)</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	59	30	89	0	0			
27	国民健康保険葛巻病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	42	18	60	0	0	内、外、小、産婦、眼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病床と地域包括ケア病床における回復期機能を有している。介護療養病床を併設し(R6.3まで)、現在はショートステイの運用で町の介護施設等との調整を行っている。</li> <li>・救急告示病院として、365日24時間体制で当町のみならず、近隣市町村の住民への対応を行っている。</li> <li>・生活習慣予防などの疾病予防として、町と連携し医師による健康講話等に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護療養病床はR6.3月で廃止し、一般病床への転換の検討。</li> <li>・回復機能の維持、充実のため地域包括ケア病床の増床を含む運用の検討。</li> <li>・町と連携した人材確保と積極的な人材育成支援。</li> <li>・認知症患者への対応に伴う専門的知識の更なる習得。</li> <li>・訪問診療、訪問看護など在宅医療の推進。</li> <li>・健康寿命の延伸を図るため、保険者(町)及び関係機関と連携し、生活習慣病予防対策を推進。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	60	0	60	0	0			
28	鶯宿温泉病院	救急告示 ／	2023 (R5) 調査	0	0	14	74	88	0	0	整、麻、内、外、リハ、リウ、消、循	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雫石町、西和賀町地区を中心に地域住民のかかりつけ医としての役割。</li> <li>・救急告示病院に認定され、地域の二次救急病院(当番病院)の役割を担っている。</li> <li>・また近隣介護施設等の協力病院を担い救急の受入れ及び診療所等の後方支援(入院受入れ)を担当。</li> <li>・整形外科及び麻酔科並びにリハビリテーション科領域を中心とした医療提供を行っている。</li> <li>・入院はリハビリや人工呼吸器等の対応も可能。長期に渡る療養や介護を目的とした患者の受入れ。</li> <li>・地域包括ケア病床(14床)によりポスト及びサブアキュートの回復期機能を担っている。</li> <li>・療養型介護老人保健施設を併設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域に根ざした医療提供とリハビリテーションや医療依存度の高い入院患者への対応し、地域住民や介護施設等のサブアキュートを担っていく。</li> <li>・在宅医療の拡充を推進し、限られた病床の効率化を図る。</li> <li>・併設の老健40床は介護医療院に移行(計画)。</li> </ul>
			2025 (R7) 見込	0	0	14	74	88	0	0			

No.	医療機関名	救急告示 ／ 二次救急	病床機能							診療科目	病院の役割・特色	2025年を見据えた今後の方向性	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	介護医療院	休棟中等				
29	医療法人社団愛和会 盛岡南病院		2023 (R5) 調査	0	0	0	164	164	0	0	内、外、整形、リハ	・ 県内最大規模の164床の医療療養病床を有し、岩手県全域からの入院要請にも対応 ・ リハビリにも力を入れ、在宅復帰率の向上を目指しつつ、市内の介護・福祉施設や個人在宅への訪問診療を行っている	・ ポストアキュート患者の受入を従来通り、断らず受け入れ、サブアキュート患者（自院の訪問診療患者、近隣の介護施設の利用者）の受入、在宅復帰を強化していく。 ・ 在宅復帰強化の為に、リハビリや摂食機能療法を強化していく。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	164	164	0	0			
30	医療法人仁妙光会 渋民中央病院		2023 (R5) 調査	0	0	0	117	117	0	0	整外、内、外	・ 急性期以後の慢性期疾患の治療と療養を目的とした患者の受入れ。病状安定期において医学的管理のもと長期に渡る療養や介護を目的とした患者の受入れ。地域住民の「かかりつけ医」としての役割を担っている。	・ 急性期以後の慢性期疾患の治療と療養を目的とした患者の受入れ。病状安定期において医学的管理のもと長期に渡る療養や介護を目的とした患者様の受入れ。地域住民の「かかりつけ医」としての役割を担っていく。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	117	117	0	0			
31	松園第一病院		2023 (R5) 調査	0	0	0	120	120	0	0	内、耳	・ 医療介護病床（60床）、介護療養病床（60床）を有し、地域の慢性期医療を担っている。	・ 長期にわたり療養が必要である要介護者に対し、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の介護を行うことを目的とする介護医療院に転換済（R6. 1. 21～）。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	0	0	120	0			
32	みちのく療育園メディカルセンター		2023 (R5) 調査	0	0	0	57	57	0	3	内、精、小、耳、リ、歯	・ 全域の重症心身障害者と発達障害児（者）のための福祉と医療、療育の重要な拠点施設として関連する保健、医療、福祉施設と連携して障がいのある人々の支援を総合的に実践。	・ 施設を利用する障がい児（者）は、入所、通所（入院、外来診療）ともに高齢化の傾向にあるので、各年代に相応した施設の整備と診療内容を物、人員共に拡充してゆく必要がある。ハード面、ソフト面共に計画的に充実して行きたい。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	60	60	0	0			
33	岩手県立療育センター		2023 (R5) 調査	0	0	0	44	44	0	16	小、整形、児精、神内、泌、眼、耳、歯、リハ	・ 医療型障害児入所施設、医療型児童発達支援センター、児童発達支援・生活介護事業所、岩手県発達障がい者支援センター、障害者支援施設を併設した多機能型の施設であり岩手県の障がい児（者）療育の中核施設である。	・ 本県の障がい児（者）療育の中核機能を担う施設として、より高度な小児医療連携体制と重症心身障がい児（者）への支援体制を目指すことから、それぞれの機能が総合的・効率的に連携が図られるよう各種委員会等により運営体制の安定に向けた検討を行っている。
			2025 (R7) 見込	0	0	0	50	50	0	10			
合計又は平均			21 / 11	1,208	1,596	1,196	1,317	5,317	0	147	稼働病床に対する利用率及び平均在院日数については、松園第一病院（介護医療院転換済み）、みちのく療育園メディカルセンター及び岩手療育センターを除く	-	
			2025 (R7) 見込	1,208	1,497	1,301	1,165	5,171	120	173			
			増減	0	-99	105	-152	-146	120				